

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事	平成25年7月22日
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都府長岡京市神足焼町1番地	氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) パナソニックデバイスエレクトロニクス株式会社 代表取締役社長 水越成彦

環境マネジメントシステムの名称	ISO14001(2004版)
適用範囲	パナソニックデバイスエレクトロニクス株式会社 (本社・亀岡事業場)
導入年月日	本社: デバイス社_半導体事業本部のシステムに含まれて活動 亀岡事業場: 1997年6月24日
認証番号	亀岡事業場: EC97J1029
基本方針	地球環境の保護が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、 全従業員は積極的に環境改善を進める。 具体方針: (1) ISO14001の継続的改善(2)法令等の遵守 (3)CO2削減、廃棄物削減、指定化学物質等の排出・移動量削減
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	[亀岡事業場の目標] (1)電力使用量_生産高原単位低減(2011年度比0.5%減) (2)新規導入設備(所要電力3.75kW以上)省エネアセスメント実施によるCO2削減施策促進 [本社の目標] (1)CO2排出量_床面積原単位低減(前年度比4%減) (2)グリーンオフィスアセスメント実施による非製造事業場省エネ活動の維持・定着化
目標を達成するための取組の内容	[亀岡事業場: 電力使用量原単位低減] (1)コージェネレーション発電システムの徹底活用(温水利用活性化)、 (2)暖房設定温度19℃の徹底 (3)事務フロア一蛍光灯器具_キャップ-SW取付による退室時消灯化 (4)[下期]生産状況見合い_生産設備稼働調整 [本社: 電力使用量原単位低減] (1)複合機導入による発熱ドラム式プリンター・FAX台数減少化 (2)開発室: 無人時消灯化 (3)カービズ・ウォームビズ及び暖房設定温度19℃の徹底
目標を達成するための取組の進捗状況	[亀岡事業場: 電力使用量生産高原単位低減] 計画された施策については全て完遂を基本としているが、景気低迷が上期途中より叫ばれ、省電力型空調機の導入等が延期・見合わされており、省エネ活動の一部が低迷した。 [本社: 電力使用量床面積原単位低減] 新たな部署の誕生により、増員及び設備増設に伴うCO2排出量増加、新たな省エネ施策創出が低迷により計画達成は厳しい局面に立っている。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	[亀岡事業場: 電力使用量生産高原単位低減] 著しい生産高減により、「電力使用量原単位低減」が計画達成という厳しい結果であったが、上期は電力会社による計画停電への備え、下期は生産状況悪化による経費節減活動の一環として全員活動で省電力(CO2低減)が取り組まれた。 [本社: 電力使用量床面積原単位低減] 新たな部署の誕生で、人・設備の増加により電力・燃料の増加はあったが、床面積原単位として計画をクリアした。
事業活動に係る法令の遵守の状況	法令遵守については、監視項目に応じて頻度を設定し、最大年に4回、少なくとも年に1回、定期的に評価を行う事を規定し、実施している。評価結果において、遵守違反は確認されなかった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	年に1回、内部監査、外部審査並びにマネジメントレビューを行う事により、1年間のCO2排出量低減活動の洗い直しを行っている。方針において、CO2排出量低減関連事項での見直しは無いが、景気回復までは投資を伴わない低減活動に徹する指示があった。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。